

### 3-3-5 その他の交通モード（第3回委員会で整理する交通モード）

前述以外の交通モードについては、現在、検討が進んでいる状況であることから、次回の第3回委員会にて整理を行う予定である。

現在までの進捗状況については、以下のとおりである。

#### (1) 路面電車

札幌市では、平成22年3月に路面電車に関する基本的な活用の考え方をまとめた「札幌市路面電車活用方針」（以下「活用方針」という。）を策定し、市民との情報の共有化を図りながら十分な議論を行い、延伸地域や延伸ルートなどの具体的検討を進めることとしている。

活用方針では、路面電車事業の経営基盤の強化や人や環境にやさしい特性を活かし魅力的な都市空間の創造などまちづくりへの活用を図るため、「路線の延伸は実施すべき」とし、都心、創成川以東、桑園の3地域を延伸検討地域としている。

現在、パンフレットの配布、10区パネル展・フォーラムの開催等により、情報提供や市民意向の把握を進めてきており、更には、10月から大規模な市民会議を開催し市民議論を深めて行くこととしている。

この市民議論の結果や関係行政機関、利害関係者との調整の結果等を踏まえながら、今後、延伸地域や具体的な延伸ルートについて判断していくこととしている。

#### (2) 自転車

札幌市では、自転車利用者や歩行者にとってより良い環境を目指すため、「札幌市自転車利用総合計画」を策定し、今後の施策の基本的な考え方を整理する予定である。

「札幌市自転車利用総合計画」の策定にあたっては、検討を行う項目が多岐に渡ることやさまざまな意見を考慮するため、有識者や公募市民委員で構成される「自転車利用のあり方検討会議」を設置しており、平成21年2月より約1年に渡り、自転車に係る課題解消に向けた考え方や方向性について議論してきた。

議論の結果については、「札幌市における自転車利用のあり方提言」として取りまとめられ、平成22年4月に札幌市長に手交された。

この提言を基に、平成22年度内の「札幌市自転車利用総合計画」の策定に向けた検討を進めているところであり、素案の作成後、平成23年1月頃にパブリックコメントを実施する予定である。

#### (3) 自動車（駐車場）

札幌市では、自動車の駐車需要を満たすため、需要を発生させる建物を新築する際に駐車場の附置を義務付けるなど、駐車場の供給を進めてきており、現在は総体として駐車場は充足している。

今後、人口の減少、少子高齢化社会の伸展により自動車利用を取り巻く環境の変化が予想されることから、現在の駐車施策の検証を行うとともに、これからの施策の方向性について

検討を行うこととしている。

駐車場施策については、自動車交通と密接に関連し、まちづくりを考える上でもポイントとなることから、現在、既存資料による需給バランスの推計と、10月に実施する駐車場実態調査の準備を進めており、本委員会において総合的な観点から議論いただき、方向性を整理したいと考えている。

#### (4) 新幹線

新幹線は全国で約3,350kmの整備が計画されており、そのうち、約2,200kmで営業運転が行われている。北海道新幹線の新青森 - 札幌間のうち、新青森 - 新函館間では平成27年の開業を目処に工事が進められているところであるが、未着工区間の新函館 - 札幌間の取り扱いについては、現在、国土交通省において検討が進められており、開業時期は未定となっている。

#### (5) 飛行機（丘珠空港）

札幌市では、丘珠空港について、札幌と道内地方都市とを結び、高度医療やビジネス面など、札幌市がもつ高度都市機能を道民が有効に利用するための航空網を支える道内中核空港として重要な空港であると考えている。

今後、丘珠空港路線の維持発展に向け、昨年度の「丘珠空港路線の利用促進を考える懇談会」からの「丘珠空港路線の利用促進のための提言」を踏まえ、丘珠空港路線の利用促進の取組みについて検討を進める予定である。

なお、丘珠空港路線の維持のためには HAC の役割は重要であると考えており、現在、北海道と役割分担を協議しながら HAC の経営維持について検討を進めているところである。